

# 「京都治具ソリューションネット」のご紹介

京都治具ソリューションネットでは、製造・研究開発現場の生産性向上のための治工具、自動機等の提案・製造を通じたソリューションの提供を目指しています。代表を務める株式会社長濱製作所の代表取締役社長 立入 一晃氏に、そのコンセプトや取り組み、展望について伺いました。

広報活動を積極的に展開することで知名度アップを図り、  
全国展開を目標に事業の開拓・拡大を目指す

京都治具ソリューションネット

<http://kyotojigu-net.com>



## 治工具や自動機等の提案・製造を通じたソリューションの提供を目指して発足



株式会社長濱製作所  
代表取締役社長 立入 一晃氏

京都治具ソリューションネットは、治工具、自動機の製造に関する強みを持った企業が集結し、京都産業21の協力を得て2010(平成22)年に発足しました。あらゆる業界・分野の製造・研究開発現場における生産性向上に貢献できる治工具、自動機等の提案・製造を通じてソリューションを提供することをコンセプトに掲げており、現在、会員企業は当社を含めた10社です。

強みは、培ってきたノウハウを発揮・共有して知恵を出し合い、創発し、課題解決にスピード対応する会員企業のネットワークにあります。会員企業は、自動機やモーション制御装置、洗浄機、治具、電子回路、基板の設計・製作、理化学機器の企画・製造、各種設備や精密機械部品の機械加工・組立、樹脂成形・金型製作、コンピュータシステム開発など、幅広い分野にわたるプロ集団。企業間の協力により、多岐にわたる工程にも実証試作も含め一貫して対応することにより、最適なソリューションの提案・提供を目指します。これまで、九条ねぎの収獲や斜面の草刈りの自動化などにチャレンジしてきました。

## 「京都ビジネス交流フェア2022」への出展を通して広報活動の重要性やものづくりの楽しさを実感

京都治具ソリューションネットの広報活動の一環として、2月の「京都ビジネス交流フェア2022」に向けては、京都治具ソリューションネットを象徴し、かつ人を惹きつける展示品を企画。約2ヶ月という短期間でアイデアを出し合い、各社の技術を集結させてランダムに出てくる4色のピンポン玉の色をセンサで判別し、色別に4つの筒に分別しながら投入する「チャレンジホールインワン」を完成させました。



京都ビジネス交流フェアに出展

当日は、多くの方が足を止めて見てくださり、数件の引き合いもいただいて、広報活動の重要性をあらためて再認識しました。また、共同製作の過程では、各会員企業との親交を深めながら互いの技術力をより深く知るとともに、ものづくりの楽しさを実感することができました。私にとっては新たな発見を得られる場でもあり、それらをヒントに顧客に対してコストダウンを実現する構造を提案することもあります。また共同活動を通して得られる達成感は、日々の業務における意欲向上につながっています。

今後は、京都産業21や自治体の支援を得ながら、課題を抱えている企業や施設への訪問・提案を積極的に行っていく予定です。並行して、その後の改良でさらなる高精度化を実現した「チャレンジホールインワン」を各社が個別に参加する展示会でも活用するなど、広報活動も積極的に展開し、全国展開という夢に向かってまい進していく所存です。



会員企業のアイデアと技術を結集させた「チャレンジホールインワン」



## Data

- 所在地 / [KJS-NET事務局] 京都府京都市南区唐橋門脇町23-2 株式会社長濱製作所内
- 電話 / [KJS-NET事務局] 075-691-5819
- 発足 / 2010(平成22)年12月14日
- 会員企業 / コニテック株式会社、株式会社坂製作所、新門電子株式会社、株式会社タイヨーアクリス、株式会社長濱製作所、マイコム株式会社、ミヤコテック株式会社、株式会社山科電機製作所、ログイン株式会社、ワオデザイン株式会社